

第8回：組織改革のための「7つのS」

**組織の7Sを考える**

- 1) 生活環境の変化 ・大家族環境から、核家族へに環境が変わり「母親も働き子供の育成も子供の自由にまかせ、人としての「教育」が疎かになった。
- 2) 組織は上手に、円滑に扱う事に意味があります。 ・知識や、ノウハウが必要で、学ぶ意識（自己啓発）を要します。
- 3) 食品の7S「活動が有りますが、経営環境にも7S活動が有ります。
- 4) 業務の改革や、食品衛生管理に於いては5S活動、7S活動があります。

組織は「生き物」である。常に抜本的な改革が必要だ。経営者は（幹部社員）は熱意を胸に全力で改革に取り組む無くてはなりません。＊現状に満足していませんか？ 満足は「停滞」です。

経営環境（組織）の7S

★ハードのS ①組織環境（Structure）企業の組織化が、組織階層に沿って上司、部下の関係が「明確になっているか？＝組織が職能性になっているか？

②システム（System）管理、情報等のシステムの仕組み（報告・連絡・相談） ＊インセンティブ（やる気＝意欲の向上目標達成への行動） ＊情報の流れとそれを伝え、改善し確認する仕組み（システムの構築）

③戦略（Strategy） ＊自社内では、重要な立場であると自負していませんか？しかし外部では想像を絶する「偉大な人が存在しています」

★ソフトのS ①スキル（Skill）企業や、社員が持っている特定の能力で企業に取っては重要で、競合他社にないスキルが有れば、競争力が高く優位を確保できる

②人財の育成（Staff）リーダーシップが取れる人財の育成。 ・組織は、人の（能力）組み合わせです。

組織の7Sを考える

③スタイル（Style）組織の文化や経営理念と経営環境 ・良い社風づくり 良い製品は、良い社風から生まれます（報告、連絡、相談） ④共有価値（Shared value）企業の基盤となる経営理念が全従業員に浸透しているか？

**組織を活性化するために行動すべきこと**

活性化組織とは 「目的の共有」「主体的に自主的に」「協働」「協調」「協力」する 企

業内意識改革が重要です。組織を活性化するために「人財の育成」のプログラムを計画的に実施する事です。★計画（段取り八分）★教育は教える事であるが、ある人を望ましい状態にする事、「組織力」とは「やる気、能力、想像力、行動力」＋協調性であるが、管理監督者の「動機付け」が重要です。